

(報道関係各位)

2014年2月3日

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

博報堂DYメディアパートナーズとイード、 次世代メディア事業において資本・業務提携

このたび、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:大森壽郎、以下 博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社イード(以下「イード」と)と次世代メディア事業における共同事業推進に合意し、資本・業務提携を締結致しました。

生活者のWEB閲覧行動や、ECサイトにおける購買行動等のデータ(以下「生活者データ」という)を活用し、生活者へベネフィットを提供するとともに、広告主や媒体社のマーケティング活動やコミュニケーション活動を行なうデータマネジメントの重要性に注目が集まっています。

博報堂DYメディアパートナーズは、「RBB TODAY」や「Response」等の領域特化型メディア(パーティカルメディア)を運営するイードとの資本・業務提携を通じて、イードが持つオリジナルCMS及びWEBメディア運営のノウハウを生かし、広告主企業のオウンドメディア構築支援や、媒体社の新しいメディア事業の開発及び拡大に取り組んでいきます。そして、そこで得られる生活者データを軸に、生活者、広告主、媒体社への価値提供を実現してまいります。

■資本・業務提携により実現する3つのシナジー

(1) 共同メディア事業の推進

イードが保有するメディアプラットフォームやメディア運営ノウハウと、当社グループの保有する広告主企業、媒体社、コンテンツホルダーをはじめとするステークホルダーとのネットワーク力を掛け合わせて、共同でメディア事業を推進していきます。具体的には広告主企業のオウンドメディアや、媒体社のデジタルメディア及びコミュニティ等の企画・開発・運営支援を行っていきます。

(2) 生活者データの活用

イードが独自保有する生活者データ、及び(1)で得られる生活者データを、当社の生活者データ基盤と連携することによって、生活者インサイト発掘やコミュニケーション施策などの様々なマーケティング施策へ活用し、生活者、広告主、媒体社へ価値提供を行います。

(3) EC事業での連携

イードが保有するECソリューション「marbleASP」と、当社グループが推進する、媒体社、コンテンツホルダーとの共同EC事業を、一元的に連携させ運営していきます。

以上をもとに、博報堂DYメディアパートナーズとイードは、生活者データを軸とした次世代メディア事業を共同推進し、生活者、広告主、媒体社等の多種多様なニーズに応えられる高度なコミュニケーションサービスを提供していきます。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎・桐明 03-6441-9347

=参考=

株式会社イードについて

2000年4月に株式会社インターネット総合研究所 100%出資子会社「株式会社 IRI コマース&テクノロジー」として設立。同12月「RBB TODAY」の営業権取得。翌々年11月「オートアスキー」の営業権を取得。サイト名を「Response」とし本格的にメディア再生マネジメントを開始。

2006年10月「marbleASP」営業権を取得しECソリューション事業をスタートさせる。

2010年元日産自動車子会社でリサーチ事業を行う「株式会社イード」を統合し、社名を「株式会社イード」へと変更する。

現在は、19ジャンル約30サイトの「領域特化型メディア(パーティカルメディア)」を運営するメディア事業を中心に、ECソリューション事業、リサーチ事業を行う。

■基本情報

- | | |
|-------|------------------------------------|
| ①社名 | 株式会社イード |
| ②代表者名 | 宮川 洋 |
| ③所在地 | 東京都中野区中央一丁目38番1号 |
| ④設立年月 | 2000年4月28日 |
| ⑤資本金 | 595,025,000円(別途、資本準備金629,675,000円) |
| ⑥従業員数 | 単体123名/連結153名(2013年12月現在) |